

令和5年8月16日

南樺太のウミスズメから 高病原性鳥インフルエンザウイルスを検出

8月4日付のロシア家畜衛生当局から国際獣疫事務局への報告によると、南樺太の死亡野鳥から高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出されたとの情報が農林水産省から提供されました。

【概要】

回収場所：サハリン州ドリンスク市、マカロフ市、コルサコフ市
検体の種類・鳥種：死亡野鳥・ウミスズメ科（種未同定）計244症例

ウミスズメは南樺太からまとまって日本に飛来することはないものの、南樺太を経由する他の野鳥を介してウイルスが日本に侵入する可能性があります。

皆様におかれましては、飼養衛生管理基準遵守の徹底、特に下記の点について重点的に確認し、継続的な実行に努めてください。

1. 衛生管理区域に立ち入る者の手指消毒等
2. 衛生管理区域専用の衣服及び靴の設置並びに使用
3. 衛生管理区域に立ち入る車両の消毒等
4. 家きん舎に立ち入る者の手指消毒等
5. 家きん舎ごとの専用の靴の設置及び使用
6. 野生動物の侵入防止のためのネット等の設置、点検及び修繕
7. ねずみ及び害虫の駆除
8. 農場周辺の消石灰散布等消毒の徹底

家きんに異状が認められた場合は直ちに壱岐家畜保健衛生所へ連絡してください。

壱岐家畜保健衛生所 担当：中島・久住呂

TEL：0920-45-3031